

次号予告

特集 SOCIETY5.0と社会応用へのOR

新たな経済社会としてのSociety 5.0.....日高浩太, 長谷川義之, 布施田英生 (内閣府)
Society 5.0による新産業創出.....吉村 隆 ((一社)日本経済団体連合会)
Society 5.0に向けた社会サービスの創出.....田中克二 ((一社)産業競争力懇談会)
Society 5.0実現に向けたプラットフォーム.....紅林徹也 ((株)日立ソリューションズ)
Society 5.0におけるものづくり
.....平岡精一, 伊東輝顕, 橋本 茂, 岩井匡代, 田中健一 (三菱電機(株)情報技術総合研究所)
Society 5.0におけるIoT車両情報と社会応用.....高原 勇 (筑波大学)

メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●特集「OR研究をめざす女子学生へ」いかがでしたでしょうか。男子校出身で、女性の比率の低い理工学部で長いこと学生生活を過ごした私にとっては、特段にOR学会の女性比率が低いと感じられたことはなく、おしなべて理工系はこういうものなのだろうと思っていました。また、個性のあるOR学会の男性諸氏と同様に、たまさかその方が女性であるというだけで、性別もその方の個性の一部であるように捉えていたように思います。もちろん、女性であるということに配慮すべきところはしていたつもりですが、どうにもその辺りの機微に疎いものですから、お叱りの言葉をいただきそうです。

●今号の執筆者は、すべて女性でした。このような特集が組まれることは、大変喜ばしい一方で、悲しいこ

ともかもしれません。喜ばしいというのは、もちろん、それだけ活躍している女性がいらっしゃるからで、悲しいというのは、女性ということを強調するだけ貴重に感じているからです。わざわざ男性という共通項で特集を組むことがないのと同様に、女性という部分をクローズアップする必要がなくなればよいですね。でも、そうすると若手特集のように年代で区切ったり、支部で区切ったりするのもよくないのでしょうか。いや、問題はこれらの属性で差別することが問題であって、そういった共通項で特集を組むことは問題ない、はずですよ。そういえば、支部で特集があるのなら、出身地別で特集を組んだらどうでしょう。あ、旦那さんの視点なんていうのも、ねえ。

(鶴飼孝盛)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 猿渡 康文 (筑波大学)

特集担当編集委員 池辺 淑子 (東京理科大学)

委員 池辺 淑子 (東京理科大学), 石井 儀光 (国立研究開発法人建築研究所), 井床 利生 (日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所), 鶴飼 孝盛 (慶應義塾大学), 小林 隆史 (立正大学), 坂本 英夫 (株式会社東芝), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 佐藤 圭介 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 高野 祐一 (専修大学), 中原 孝信 (専修大学), 生田目 崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成28年8月号 第61巻 第8号 通巻668号

代表者 大山 達雄

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。